

第115回 大阪大学工業会機械工学系 技術交流会 リフレッシュセミナー

— 構想から始める設計のすすめ —

【趣旨】

本技術交流会では、先端研究を紹介する講演会を定期的を開催してきていますが、時々機械工学専攻での教育活動の中から産業界の方々にも有益な内容を共有する「リフレッシュセミナー」を開催してきています。

今回のセミナーでは、上流設計のための方法論についての講義科目「プロダクトデザイン方法論」とそのもとで産学連携のスキームにより実施しているプロジェクト演習科目「プロダクトデザイン」を取り上げます。構想段階を念頭において設計のすすめ方を刷新したいとお考えの方々、日頃の業務の中でイノベティブな設計にチャレンジしたいとお考えの方々にとって、有益な内容ですので、是非、ご参加ください。

なお、今回のセミナーは、「プロダクトデザイン」への演習課題の提供を通じて協賛いただいている企業の方々へのセミナーを技術交流会の企業会員様にも開放してご案内するものです。

記

日時： 2023年7月12日（水） 13:30 ～ 16:40

会場： 大阪大学 大学院工学研究科 機械工学専攻

吹田キャンパス M4棟 1階 101 講義室

<http://www2.mech.eng.osaka-u.ac.jp/access/>

《スケジュール》

13:00～

開場・受付

13:30～13:35 開会挨拶、開催趣旨の説明

大阪大学工業会機械工学系技術交流会 会長 赤松 史光 氏
大学院授業「プロダクトデザイン」 取り纏め担当 教授 小林 英樹 氏

13:35～16:35 講演

構想から始める設計のすすめ：大学院授業「プロダクトデザイン」での実践から

大阪大学 大学院工学研究科 機械工学専攻 教授 藤田 喜久雄 氏
(途中休憩あり)

16:35～16:40 閉会のご挨拶（次回技術交流会の案内）

構想から始める設計のすすめ：大学院授業「プロダクトデザイン」での実践から

製品を日々更新していくことは製造業にとっての要であるが、時として、根本を見直した新たな構想に基づく新製品が求められる。日頃のルーチンを超えて斬新な製品を創り出す設計には、品質機能展開などの Design for X (DfX) 方法論を活用したり、システム思考やデザイン思考などを取り入れたりすることが有効であるとされる。しかしながら、それらを縦横無尽に駆使しながら適切に設計を進めていくことは容易ではない。機械工学専攻では、構想から始める設計について、各種の課題を克服するべく、プロジェクト型科目「プロダクトデザイン」を 2005 年から実施してきている。本講演では、同科目での教育実践を引きながら、そのあるべきすがたや具体的内容について紹介する。

以上